



# 校長室だより

第 1 4 号  
(通算第67号)  
令和4年6月24日(金)  
大崎市立沼部小学校  
校長 吉田 浩之

## 靴をそろえる！(キーワードその2)

今年度、学校経営方針の、大事にしたいキーワードの一つに「靴をそろえる」を掲げています。そのため、入学式の時に1年生の皆さんには「靴をそろえるときっといいことがありますよ。」と話しました。

長野県の円福寺というお寺のふじもとこうほう藤本幸邦というお坊さんがこんなことを言っています。

はきものをそろえると 心もそろう  
心がそろうと はきものがそろう  
ぬぐどきにそろえておくと  
はくどきに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと  
世の中の人の心もそろうでしょう

この言葉をみんな  
に見てほしいので、  
昇降口の柱にも掲示  
しています。



永平寺の開祖である道元禅師は、日々の修行の中に「履物をそろえる」という行為を組み込んでいました。はきもの、つまり靴です。靴をそろえることは「自分自身を見つめる」「自分の行いを振り返る」と考えていました。「履物が散らかっていると、心が乱れている。そろっていれば心が落ち着いている」ということです。

こんな話もあります。先生が「おはよう」といっても挨拶もしない、陸上の大会に出ても負けてばかりだったという、大阪市にある松虫中学校という中学校の陸上部がありました。靴をそろえることを徹底しました。すると、「靴をそろえることで、創部6年目にして、種目別日本一を13回も獲るまでになった。」と当時の監督さんが言っていたそうです。

また、箱根駅伝で何度も優勝している青山学院大学陸上競技部の原晋監督は次のように言っています。「人はすぐに結果を求めたがりますが、土壌を耕すには、どうしても時間が掛かるものなのです。質のいい花をたくさん咲かせたいなら、まず目を向けるべきは土壌を耕すことです。」私はこの一文が心に留まりました。

右の写真は、6年生が水泳学習している時の上靴の置き方です。分かりづらいかもしれませんが、一人一人はしっかり靴をそろえています。さすがぬまっこ最上級生だと思います。次回からは、周りのことも考えて、全体が一直線になるように靴をそろえて並べると、見栄えもいいし、自分以外のことにも目を向けられるようになると思います。修学旅行に向けて意識を高めたいですね。



沼部小学校に質のいい花をたくさん咲かせたい！！土壌を耕すことに、まず、靴をそろえることを学校では取り組みます。原監督がおっしゃっている通り時間が掛かることだと思います。御家庭でも「靴をそろえること」を意識させていただけると大変ありがたいです。子供たちがしっかり意識できれば、きっと質のいい花が多く咲くことでしょう。